

2025 年度

南三陸少年少女自然調査隊

ネイチャー ニュース

Nature News vol.1



【オリエンテーションと干潟調査】

令和7年4月29日（土）

8：30 -12：30

場 所：南三陸町自然環境活用センター
折立海岸

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会



南三陸高校自然科学部

南三陸町教育委員会事務局

南三陸町自然環境活用センター



「いよいよ活動開始！？」

・今年も調査隊の活動がいよいよ始まりました。今年度の新メンバーは18名と多くの隊員たちが集まりました。昨年度から継続の隊員のほかに、新しい隊員が4名・再入隊の隊員が1名入隊しました。

1回目の活動は12名の隊員が参加し、オリエンテーションと干潟調査を行いました。オリエンテーションでは、自己紹介や調査隊についての説明、ゲームなどをしてコミュニケーションを深めました。今年度、みんながやってみたい活動は、前年度同様スノーケリングが最も多く、続いて釣り調査、イルカ・クジラウォッチングなどがあげられました。みんなの希望ができるだけ多くかなえられるように、準備していきたいと思います。



「折立海岸はどんな場所??」

・折立海岸は、ネイチャーセンターの目前に広がる海岸で、折立川の河口付近に位置しています。2015年の復旧工事で今の状態の人工干潟になって以降、約30種あまりの生きものが毎年見つかっています。



「どうやって調査をするの？」

- ・干潟で生きものを見つける「3つのワザ」
 - ①しゃがんで目線を近づける
 - ②石の下や隙間をのぞく
 - ③シャベルを使って砂の中の生きものを掘り返すを使って折立海岸の生きもの（種類）をできるだけ多く見つける調査を行いました。



「さあ、どんな生きものが見つかるかな!!」

- ・南三陸高校自然科学部のお兄さん、お姉さんたちも一緒に調査員18名で生きもの調査をしました。風がとても強く大変でしたが、みんな一生懸命に生きものを探していました。



「どんな生きものがいたの？」



- ・今回見つかった種類は、クモリアオガイ、イシダタミ、タマキビ、アオモリムシロ、アサリ、スナイソゴカイ、ヨコヤアナジャコ、ケフサイソガニ、イボニシなど、合計60種でした。
- ・このうち、イシダタミ、アサリ、スナイソゴカイは、18人中13人以上が見つけた『優占種（ゆうせんしゅ）～折立海岸に多く住んでいる種～』（発見率が70%以上の種）になります。
- ・他には、ツブカワザンショウ（絶滅危惧Ⅱ類：宮城県）、ヤマトクビキレガイ（絶滅危惧Ⅱ類：宮城県）、チビイトマキヒトデ（情報不足：宮城県）も見つかりました。これらは、絶滅のおそれがある希少な生きものをまとめたリスト（レッドリスト）にのっている種です。

【ミヤギテレビでの放送予定】

今回、ミヤギテレビの取材がありました。5月16日（金）の「OH! バンデス」内で放送予定とのことです。詳しい時間がわかりましたら、メールにてお知らせします。

【今後の予定】

☆6月14日（土）アマモの苗植え ☆7月27日（日）八幡川の生きもの調査

※詳細は後日お知らせします。是非ご参加ください。

